

苦情対応報告書【新島こども園】

受付日時	令和7年7月25日（月）
受付方法	<input type="checkbox"/> 窓口 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> F A X <input checked="" type="checkbox"/> その他 （ 紙文書 ）
受付者	保育こども園課
内容	別紙のとおり
対応日時	令和7年8月8日（金）
対応方法	<input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 園内掲示 <input type="checkbox"/> 保護者面談 <input checked="" type="checkbox"/> その他 （ICT配信 ）
園名	新島こども園
報告者	崎濱盛道
対応内容	別紙のとおり

保育施設の空調管理・熱中症対策に関するご意見への回答

この度は空調管理及び熱中症対策について貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。園としましては真摯に受け止め、職員への確認と担当行政機関との協議を行ったうえで、保護者のご意見に関する回答、行政からの確認事項に関する回答の順でご報告申し上げます。

【保護者からのご意見】

新島こども園に子どもを預けている保護者です。保育室の空調管理に関して園に問合せたところ、客観的にみて園児が危険だと感じたのでご連絡致しました。早急な対応をお願いします。

・毎朝、保育室が暑くて、エアコンを付けているのが感じられない為、主任保育士に話を聞きました(以下、内容を記録しています)

・エアコンは何時頃付けていますか？

→「大体 11 時頃につけている。外気や湿度を見ながら都度調整している」

・室内でも熱中症を起こす可能性があるので心配です

→「園の方針としては、子どもの発汗機能を大事にしており、暑さに慣れる為にもエアコンはあえて付けていない。基本は、11 時頃に付けて、午睡明けにはまた切っている。窓を開けて換気をし、26 度～28 度を保っており、それ以上になったら入れる。

また、0、1 歳クラスはまだ体の機能が未熟な為、もっと早い時間からつけている。」

とのことだった為、翌日、2 歳児クラスの室温計を確認させていただきました。

朝 8 時半頃。29.4 度。湿度 75%…

この時点で、熱中症予防をしているとは思えません。

3 歳児以上のクラスは目視で確認できていませんが、2 階の為、体感では更に暑いです。

(送迎時、2～3 分いるだけで大人でもキツイ程…)

そして、体の機能が未熟と言っていた 1 歳児クラスは 8 時半の時点では

まだついていませんでした。

保育園には様々な子がいて、自分で暑い、寒いと言えない年齢も多くいます。

また、近年の温暖化で毎年気温が上がってきて、数年前の常識は通用しなくなってきました

た。

その旨も伝えましたが、「環境省の基準に基づいてやっているのです大丈夫です」とおっしゃっていました。

また、毎月のお弁当は、全クラス1箇所(共有の部屋)に集めていますが、その部屋にも冷房は付いていません。その為、食中毒を起こさないかととても心配です。今のままでは安心して預けることができません。(ちなみに、保育士さんも汗をかいて、見えてとても暑そうです)

また、他の保護者の方の意見も聞いてみると、同じように暑いと感じていて気になるが、言う事ができない。と言っていました。

なぜ、エアコンを入れないのか。

園の方針以前に、子どもの命を守ることが重要だと思います。

(保育士さんはとても熱心に関わってくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。そのような方針が上の意向であれば、何も言えない気持ちも分かります。現場の保育士さんを責めたい訳では決してありません。)

どうか、子どもたちはもちろんのこと、働く職員にも心地良い環境が整いますように。

早急な対応をお願いします。また、この件に関しての苦情報告書を、園だより、またはアプリ等で全保護者に通知をお願いします。

【園からご意見に対する回答】

○エアコンの使用について

3～5歳児(ぞう・きりん・らいおん組)は朝の時間帯に園庭での活動を取り入れております。その際は環境省が公表している「暑さ指数(WBGT)」を職員が確認し、安全に配慮した上で活動を開始しております。9時前後には一旦クラスに移動し、室温や湿度、風通しの状況、そしてこどもたちの様子を踏まえて、職員の判断によりエアコンを使用しています。また、お支度や休息をしつつ1時間程度部屋で過ごした後、10:15から30分程度、外で遊べる選択もできるように配慮しています。その際も「暑さ指数(WBGT)」を職員が確認しております。

0～2歳児(ひよこ・りす・うさぎ組)につきましても、各クラスで気温や湿度だけでなく、風の通りやこどもたちの表情・行動なども観察し、職員の判断により、早いときは8時頃、遅いときは9時頃にエアコンを使用しております。

なお、ご指摘いただいた「8時半時点での室温29.4℃・湿度75%」という状況について

は、上述したように現場でも風通しやこどもたちの体調を見ながら適切に対応していたとの報告を受けておりますが、数値としては高めであったことも事実として受け止めております。

今後は現場での体感や観察に基づく判断を大切にしながらも、後述します市の確認事項の数値的な確認も進めてまいります。

○午後の室温管理について

ご不安の声があった「午睡明けにエアコンを切っている」との点につきましては、改めて確認したところ、午睡明けも継続的にエアコンを使用していることが確認できました。午後も、室温や湿度、風通し、こどもたちの様子を見ながら対応しております。

○お弁当保管と食中毒への対応

お弁当につきましては、登園後一時的に玄関付近のワゴンに集められたのち、登園が落ち着き次第、エアコンの効いた休憩室に移動しております。ただし、この対応については今後さらに見直す余地があると認識しております。より安全な保管方法について、さらに職員と協議してまいりたいと思います。

○暑熱順化と安全の両立について

こども家庭庁の情報に基づき、当園では適度な外遊びを取り入れ「暑熱順化（暑さに慣れる）」を育むことも大切にしています。しかし、こどもたちの命と健康を守ることを最優先に、室温・湿度・体調・遊びの内容など多角的に考えながら保育を進めてまいりたいと思います。

○今後の対応と情報共有について

今回のご意見を受け、市の担当課とも連携を図り、立ち入り調査や聞き取り調査、協議を経て、本園の対応について了承をいただいております。そのうえで、後述します確認事項への回答や現在実施している対応を行うことで更に安全面に配慮していく所存です。

他の保護者の皆様の中にも、同様のご不安を感じておられる方もいらっしゃると思います。この内容については、保護者の皆様にも共有させていただきます。

【市からの確認事項】

日頃から暑さに慣れることは環境省作成の「熱中症環境保健マニュアル」でも推奨されていることから、過度に冷房に頼らないようにする園の方針に直ちに問題があるわけではないと考えますが、そのためには十分な熱中症対策を実施する必要があると考えております。扇風機や自然風を利用し涼しい環境を保持しつつ、保育室環境の目安となる 26～28℃

（保育所における感染症対策ガイドライン「こども家庭庁」参考）を超える場合や熱中症警戒アラート発表時は熱中症の危険性を考慮し適宜冷房を入れる必要があるということを念頭に置き、過度に冷房に頼らない保育を行うにあたって以下の確認事項について、園より回答をお願いします。

①室温の確認タイミングの取り決めについて朝の登園時や外遊び終了時、昼食時、午睡時、午睡明け等タイミングを決めて室温の確認を実施する必要がある。担当保育士は現場対応等で確認が難しいことが予想されるのと保育室に常駐しているため、その環境に慣れて室温の変化に気づきにくいこともある。（保育室を冷やすため冷房の設定温度を低くしたのち、設定温度を上げ忘れて室内の温度が 26～28℃以下になる場合があるなど）そのため園長や事務所職員等保育室以外で業務している職員が巡回し確認することを推奨する。

②室温等の記録作成について室温の確認、冷房の入切を記録として残すことで事故の際の根拠資料となることや保護者も園としてしっかり確認していると安心感を持てる。例：冷房のリモコン付近にチェックリスト用紙を壁掛けのような形で設置するなど職員の負担にならず目に付く箇所

（園の対応）

・職員と話し合った結果、①と②の対応を以下のように実施していきたいと思います。

エアコンのリモコン付近に、エアコン入切の時間及び室温・湿度を記載するチェック表を用意する。

午睡時に作成する書類に室温・湿度記入欄を作成し把握できるようにする。

園長や事務所職員が部屋へ出入りする際は室温・湿度を意識的に確認し、職員と確認し合うようにする。

③温度計の位置は子どもが過ごす環境の高さに設置する必要があると考える。園を視察した際、壁掛け時計と一体型の温度計だったため直接冷房の風があたっている箇所も見られた。温度計は園児がいたずらする恐れもあるため手が届かない高さでかつなるべく子どもが過ごす環境に近い高さでかつ保育士が見やすい場所に設置することを推奨する。※棚の上など

（園の対応）

小型の温湿度計の購入及び設置又は暑さ指数の測定器を各クラスへ設置する
設置場所は棚の上又は壁掛けを予定している

④園児の体調確認について日頃から園児の体調確認については把握しているところだと思
うが、改めて夏季については特段注意して確認する必要がある。水分摂取量や顔のほて
り、発熱・発汗など園児の状態確認を行う。特に冷房をつけていない時間や外での活動中
は注意して確認する。

(園の対応)

・各クラスの水分補給の状況等を下記に示す。

ひよこ組

1対1で水分補給。

りす組

水分補給をした子のコップは別のケースにコップを入れる。飲まない子は1対1で飲ん
でもらうように対応している。

うさぎ組

全コップに水を入れ飲むよう促す。飲まない子は1対1で飲んでもらうように対応して
いる。

ぞう組、きりん組、らいおん組

1日に数回(園外活動時は15分~20分に1回、部屋に移動の際、お着替え後、食事後
などのタイミング)は一斉指示のもと水分補給を促している。飲み忘れの子には声をかけ
促している。それ以外は各自飲みたいときに飲んでいる。

こどもたちが心身ともに安心して過ごせる環境づくりのためには、ご家庭との連携や対
話が大切だと考えております。現場の職員も皆様の大切なお子様の命を預かる責任を胸
に、日々保育にあたっております。保護者の皆様の意に沿わないことも多々あると思いま
すが、今後ともご理解とご協力、また、ご意見等を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年8月7日

新島こども園

園長 崎濱 盛道